

SCPアジア大会報告

今回、SCPのアジア大会である「Company of the Year」(COY)に初挑戦で参加しました。これは、SCPに取り組んだ経験のある生徒で15歳から19歳までの生徒しか参加できない大会です。参加できるのは、最大4名で、今回、本校からは2名の男子生徒と2名の女子生徒が参加しました。すべて英語での体験プログラムです。この大会に参加するために、英語での報告書(Company Report)を事前に提出しています。

1 アジア大会の概要

本大会は、アジア諸国のSCP修了生が参加するコンペティションスタイルのイベントです。韓国、香港、シンガポール、中国、タイ、グアム、インドネシアなど13カ国においてSCPに取り組んでいる代表チームの生徒たちが一堂に介して行われます。1社4名で参加し、プレゼンテーションや商品展示ブースの審査を経て、「Company of the Year」の座をかけて競い合い、すべて英語で行なわれます。

審査内容は、審査員へのプレゼンテーション、提出書類(Company Report)、自社のブースを設営・運営、商品の紹介やプロモーション内容・方法などとなっています。各種特別賞、また1～3位までそれぞれ記念品が授与されます。

2 大会のねらい

会社経営のプロセスから、社会の仕組みや経済の働きを知るのみならず、「責任を果たすとは何か」「リーダーシップとは何か」「他者との関わりで大切なこと」など、生きる上で欠かせない力を育み、人間形成にも寄与します。

様々な国から同世代の若者が集い、コンペに参加するだけでなく、将来にわたりかけがえのない友情を育む貴重な機会となります。

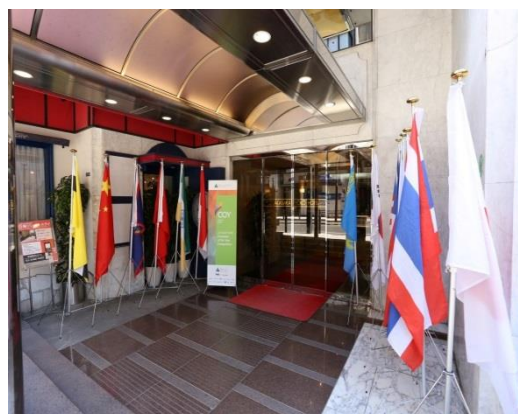
3 日程 平成29年2月19日(日)から平成29年2月23日(木)

4 宿泊先 赤坂陽光ホテル

5 主催者

Junior Achievement Worldwide Asia
Pacific

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本



6 大会概要

第1日目（2月19日） 赤坂陽光ホテル宿泊

大会登録、集合写真撮影

第2日目（2月20日） 東京ミッドタウン

開会式、フェデックスセミナー、プレゼンリハーサル

第3日目（2月21日） 東京ミッドタウン

プレゼンテーション、グループごとに質疑応答

第4日目（2月22日） 東京ミッドタウン

トレードフェア準備、トレードフェア

第5日目（2月23日）

東京都内観光



○質疑応答で実際に聞かれた内容

3人の面接官からそれぞれ質問が1つ与えられ、英語で質疑応答する。

①自分たちの商品は社会にどのような影響を与えたか（貢献したか）

②会社の人事・部署の役割分担が、商品の生産などにどのようにつながったか。

③会社を経営する上で何が難しかったか。

回答に対して、さらに関連した質問が行われる。面接官は意見を引き出そうとしてくれたのでとても助かりました。



参加生徒感想文

COYの感想文

K.R

今回4泊5日間東京で行われたJAAPCOYに参加して身をもって英語の重要さと外国の方々の凄さを感じいい経験になりました。

1日目はこれまでやってきたことをやればうまくいけるという気持ちで東京入りをしたけれど、ホテルに到着し玄関に13ヶ国の国旗が並んでいるのを見ると、今から始まるというやる気以上に成功させることができるのか不安になりました。

2日目は、午前中はミッドタウンで参加している生徒みんなでアイスブレイクをして少しは自分たち以外にどのような人たちが参加をしているのかを知ることができました。また、今までのCOYはどのようなものだったのかを演説や動画を見て学ぶ時間や3つの質問に対して自分たちはどのように思うのかを考える時間があり、考えを発表する時間もあつたけれど発表することができずに終わってしまいました。

午後の活動は、3日目に行われるスピーチのリハーサルが行われました。リハーサルでは主にパソコンのセッティングの仕方や動きの確認をして、最後にスピーチを1回だけ通してやってみただけですが目立ち時間内に終わることができなかつたけれど本番に向けての気持ちが高まりました。

3日目は、COYのメインとも言っているいいスピーチと面接がありました。自分たちはスピーチの順番が19チーム中17番目と比較的最後のほうだったので緊張はしたけれど気持ちに余裕が持てました。自分たちが回ってくる前にいくつものスピーチがあつたけれど、どのチームのスピーチも驚かされるものばかりで、自分たちにはできないような発想や大手企業と協力しているものがあつてスケールの違いに唖然としました。驚かされるうちに時間が過ぎとうとう自分たちの番が来ました。みんな緊張はしていたけれど今まで練習してきたものを本番で発揮することができたと思うし、観衆に自分たちが伝えたいものを伝えられたと思うし発表し終わった後の拍手は今でも鮮明に思い出せるほどうれしかったです。

午後にあつた面接は、社長として何もすることができなくて悔しかったけれどH.Aのおかげで何とか乗り切ることができました。この日のことはおそらく、一生忘れられないものになりました。

4日目は、ブースでの販売会の後に夕食時に表彰式やダンスパーティーが行われました。販売会では、様々なお客様に自分達の商品を買っていただいて自分たちのことをアピールできたと思うし、なんととってもほかの国のブースのものを見たり買ったりして色々な国の人と下手ながらも英語で会話する貴重な時間になったので良かったです。

夜の表彰式では、特にブースでの販売の賞を期待していたけれど、結果とることができずに何の賞も獲得することができませんでした。しかし、賞をもらったチームはもちろんだけど、どのチームも凄いものばかりだったので納得もしているし、世界の凄さを感じた瞬間でした。



ダンスパーティーでは参加した人全員で無我夢中にダンスをして遅くはなつたけれど互いの心の距離が近くなつたし気軽に楽しく会話できるようになりました。

今回経験したすべてのことは自分にとってかけがえのないものになり、自分がこれからどうなっていくべきなのか、何が 필요한のかを身をもって感じる事ができたのでこの気持ちを忘れることなく、これからの成長につなげていきたいです。

最後になりましたが、このような貴重な経験をすることができたのは自分たちを信じて出資して下さった株主の皆様、様々な形で自分たちをサポートして下さったアドバイザーの方々、様々なことをサポートして下さった先生方のおかげです。心より深くお礼申し上げます。

COY 感想 H.A

COYでは一生の思い出になる貴重な体験をすることができました。13カ国19チームが参加するCOYでは、国や文化が違う同じ世代の人たちと話していく中で多くのことを学ぶことができました。ほかの国の会社はアイデアや規模が全然違って本当に驚かされました。自分の国の環境にあった製品を作っていたり、人々の生活を豊かにできるようなアイデアもあって、これから自分たちが社会人になって働くにあたって参考にしていきたいと思うことがたくさんありました。でも、自分がこのCOYに参加して一番良かったと思うことは、いろんな国の人と交流して、お互いの国の文化の違いや考えをシェアできたことです。COYのみんなと過ごした4日間の中で、正直最初の3日は、プレゼンや質疑応答への緊張と不安で、あまりほかの国の人とコミュニケーションをとることができませんでした。でも、4日目のトレードフェア、ディナーパーティーでは最高の思い出を作ることができました。プレゼンと質疑応答が無事に終わり、全体としての雰囲気も和やかになっていて、たくさんの人と話すことができたからです。はじめは恥ずかしがっていて、あまり自分から話しかけていなかったけど、みんなと話していくうちに、自分の知らなかった国のこと、ほかの国の学校生活についてなど、新しい学びばかりで、もっとみんなのことを知りたいと思い、積極的に話しかけるようになりました。

トレードフェアでは、各会社の製品を見て回ったり、記念にお互いの会社の製品を買ったりもしました。接客では、英語と日本語を使い分けて、どうしたら我が社の製品を買ってもらえるか、どうしたら製品の良さ、作った理由をわかってもらえるのかを実践して学ぶ機会になりました。いろんな人を接客するにつれて、製品の良さ、お客様へのメリットをうまく伝えることができるようになり、多くの人に我が社の製品を買ってもらうことができました。製品のほとんどを売ることができ、自分たちの自信にもつながったので、大成功だったと思います。

ディナーパーティーでは、残念ながら賞をとることはできなかったけど、COYでの4日間の思い出をみんなと笑いあいながら語ることができたのでよかったです。そのあとのダンスパーティーでは、人生で今までにないくらい騒いで、みんなと打ち解けることができました。間違いなく一生の思い出になる最高の夜でした。



このような貴重な4日間を過ごすことができたのはJAやスポンサーの会社が自分たち若い世代にこのような場を設けてくださったおかげなので本当にありがたく思いました。

このCOYを通して、改めて自分のしたいことがはっきりとわかったので、この経験を生かして、夢に向かってがんばっていきたいです。

COYに参加して S.R

今回のCOYで一番感じたことは周り自分との差が大きく開いていることに気が付いたことです。

英語力はもちろん、見ているものや、考え方、発言力など、上げはじめたらきりがありません。なんて私たちは小さな世界でこのSCPという活動をしてきたのだろう。ほかの国の高校生は自分たちに自信をもっているるところに話に行き自分たちが納得する商品を作ってきたのだろうなと思いました。当然、私は私たちの商品に自信がないわけではありません。みんなで頭をひねって協力して作った素晴らしい



商品だと思っています。ですが、スケールの大きさでは劣っていたと思います。自分たちは否定されるのが怖くて自分たちの中だけで閉じこもっていたのかもしれませんが、でもそんなちっぽけなプライドが一気に壊された気がして悔しかったです。だけどなんだか嬉しい気もしました。私たちにはもっともっと大きな世界が自分から踏み出せばきっとあると感じたからです。

1日目の私は期待でいっぱいでした。不安も少しはあったけれど、でもやっぱりウキウキでした。父と食べた夕食もとってもおいしかったです。でも2日目に一気に不安になりました。はじめに、一つの部屋に集まって、全部の国の高校生と一緒にゲームをしたり自己紹介をしたりしました。確かに、他の国の高校生は私たちと比べて英語を喋れると聞いてはいましたが、その英語力は想像以上でした。全て聞き取ることにはなかなかできずに言葉の端を一生懸命聞きとって大まかな意味だけ理解して、私から出る言葉は単語だけです。それがとっても恥ずかしかったです。しかも相手から質問されるばかりで自分から聞きたいけれど聞きたいことが日本語はたくさん出てきて英語に変換できず、とてももどかしく感じました。その後はCOYの映像を見ました。当然英語です。はっきり言って全然理解できません。日常会話程度なら、言葉の端っこをつかんで多少理解はできたけれど、そこに流れてくるのはビジネス英語です。いくら聞き取ろうとしても単語の意味がわからないので全然理解できません。なんだか、一人取り残されたような感じがしてもう少し英語の授業を真面目に聞いとけばよかったなと思いました。

3日目はプレゼンと質疑応答です。一番の山場で一番練習したプレゼンがあるので緊張でいっぱいでした。プレゼンは一応、練習通り、失敗なくできた気がします。観客をみて頭が真っ白になりそうになったけれどメンバーが緊張しながらも懸命にやっているところを見て頑張ろうと思いました。質疑応答はすべて、ヘンデルに任せっきりになってしまいました。本当にヘンデルがいてくれてよかったなと思います。でも次にこのような機会をいただけたら絶対にだれか任せにはしたくないです。

4日目はトレードフェアでした。不安だったプレゼンと質疑応答も昨日で終わり、心に余裕をもって臨むことができました。ほかのチームの商品も直に触り、よりひとつひとつの商品のすばらしさを感じました。自分たちの商品の売れ行きも良く、社員といざこざはあったもののその分の売り上げることができ、よかったと思います。

夜のダンスパーティではガムの人と同席して会話を楽しむことが出来ました。後のダンスのテンションには少しついていくことはできなかったけれど、いろんな人としゃべる機会を得ることができとても楽しかったです。終わったあとも少し話をして仲良くなれたと思います。

今回の COY で賞は一つもとることはできなかったけど、すごく良い経験をする事ができたと本当に思います。SCP という活動の中で全然いい商品の案が浮かばずどうしたらいいかわからないできつい思いをしたことや、社員とのコミュニケーションが取れないで雰囲気が最悪になったことや COY の準備が忙しく部活に全然いけなくてイライラしたこともありました。正直言って何度も何度もやめたいと思ったこともあります。でもそこを我慢して本当に良かったと思います。こんな普通の高校生じゃ体験できないような経験をさせていただいて私はいろんなことを学ぶことができたからです。

でもそれは私一人では絶対にできなかったことだと思います。4月の時から私たちのためにいろいろ準備してくださって今回の COY でもいろんなことを裏で準備して引率してくださった T 先生やプレゼンや英語の練習に付き合ってくださった S 先生。COY で一緒にいたメンバー。COY で出会った人たち。頼りない指示を出してもついてきてくれた SCP の社員のみんな。いろんなアドバイスをくださった先生。京都から何度もきてくださった M さん。毎週月曜日には必ず来てくださった T. I さん。メールですっと私たちに連絡をくださった T. T さん。私たちのために準備を重ねてくださった JA の方々。ほかにもいろんな方々に支えてもらって私たちはこんな大きな経験を得ることができました。私は、今回の経験をずっと大事に持ってこれからも頑張ろうと思います。本当にありがとうございました。



COY 感想 M.H

まず、今回 COY に参加して学んだことは大きく分けて二つあります。

一つ目は、行動することの大切さです。これは COY に限らず私たちの今までの SCP の活動の中でもとても大切だと感じていたことですが、改めて必要なことだと思いました。今回の COY のためにプレゼンの準備をしてきましたがただ考えるだけでなく、一人一人が意見を口に出しプレゼンの構成、言葉などを何度も繰り返し変更して私たち自身で納得できるプレゼンを準備することができたと思います。

二つ目はコミュニケーション力の大切さです。私は英語を話すことができません。なので、いろんな人とコミュニケーションをとって仲良くなりたいという気持ちはありましたが初めは英語が話せないからと積極的に話しかけて交流できない部分がありました。でも、周りのみんながゆっくりと話してくれたり、私が話していることをしっかり聞き取ろうとしてくれることで徐々に言いたいことを伝え

られたり、相手が言っていることをだいたいだけで聞き取れて、ある程度会話ができるようになりました。場の雰囲気や相づち、ジェスチャーなどでしっかりコミュニケーションをとれて最終日にはすごく仲良くなれて友達もたくさんできました。私は最初英語ができないとコミュニケーションをとるのは難しいと思ってしまっているところがありました。でも、COYで私にとっては初めてというくらい多くの外国の方と交流して、英語ができなくても、言語や文化が違っても、コミュニケーション力や気持ちがあればコミュニケーションはとれるということを改めて実感しました。

そして私が COYに参加した中で一番強く思ったことは、もっと英語力を身に着けたいということです。今回、説明や会話などのほとんどが英語という状況の中で、上で言ったようにコミュニケーションはすごくとれたと思います。でもコミュニケーションをとっていく中でやはり、相手が伝えたいことをうまく理解できなかったり、自分が伝えたいことをうまく伝えられないということがあって、英語がもっとできたらなと思うことが多くありました。ほかの国に比べて自分をは



じめ日本の英語力の低さをすごく実感しました。今までも英語が大切だということは分かっていたのですが、2020年に東京オリンピックもあるし、グローバル化も進み、今後社会の中でもさらに英語は大切で必要になってくると思います。COYに参加して様々なことを考える機会にもなったし、その中で英語を話せるようになりたいという気持ちが今まで以上に強くなりました。

また、ほかのチームの商品や活動の規模の大きさに驚くことが多くあって、社会人になって働くにあたって参考になることもたくさんありました。COYに加えこれまでの会社経営は私の中で最終的にはうまくいったと思います。何よりも本当に、学ぶことや得られるものがすごく多くていい経験になったし、COYは最高の思い出にもなりました。でもこれは、アドバイザーの方々や先生方のアドバイスや手助けがあったからこそなので本当に感謝しています。COYはもちろん全体の活動の中で学んだことを忘れずにしっかりと生かして今後いろいろな新しいことに挑戦して積極的に取り組んでいこうと思いました。

